

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回配信日は6月6日(金)となります

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《牛乳類消費は前年割れ続く～来月は牛乳月間、消費喚起に向けた取り組みの強化を》

・5/19週の牛乳類の販売個数は、4品目すべて前年水準を下回った。牛乳類の販売個数が前年水準を下回るのはこれで12週連続となる。5/12週は前年同週比の減少率が▲1.8%まで縮小したが、5/19週は▲3.6%と再び拡大した。牛乳類の内訳を見ると、牛乳は12週連続、成分調整牛乳は20週連続、加工乳は9週連続、乳飲料は46週連続で前年を下回った。例年であれば気温の上昇とともに販売個数が増加する時期であるが、今年度はその伸びが鈍化している。消費低迷の背景には、主食であるコメの価格上昇および販売数量の増加が影響している可能性がある。コメのスーパーでの販売価格は5/12週において前年同週比202.2%と高水準で推移している。一方で、政府による備蓄米の放出に伴い、安価なブレンド米の流通も増加している。こうした一連の動きが、牛乳の消費にどのような影響を与えるか引き続き注視が必要である。

・北海道では、生乳生産量が前年を上回る水準で推移している。一方で、家庭における牛乳の消費は伸び悩んでおり、生乳の需給バランスは緩和傾向が続いている。6月1日の「牛乳の日」、6月の「牛乳月間」には、全国各地で牛乳の魅力を伝える多様なイベントが予定されている。こうした取り組みを通じて、業界全体で牛乳乳製品の消費拡大に向けた活動を一層強化していくことが重要である。

・はっ酵乳の3品目の合計販売個数は、8週連続で前年水準を下回った。内訳を見ると、ドリンクタイプは6週連続、個食タイプは9週連続で前年水準を下回った。一方、大容量タイプは38週連続で前年水準を上回った。総務省が公表した資料によると、4月のはっ酵乳の消費者物価指数は前年同月比で1.6%、前月比で0.9%上昇した。今後、取引乳価の引き上げも予定されており、価格動向が消費に与える影響について、引き続き注視する必要がある。

《参考》消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓

「牛乳の日・牛乳月間」 <https://www.j-milk.jp/milkday/index.html#hdg46>
「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsumilk.html>
「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009qbz.html>

10月2日に「改訂版・戦略ビジョン」を策定・公表しました

資料ダウンロードは下記URLより
<https://www.j-milk.jp/news/strategicvision202410.html>

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(5/19週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：97.5%、成分調整牛乳：94.3%、加工乳：88.9%、乳飲料：93.1%。

牛乳類トータルでは同96.4%

※参考：2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳類トータルの販売個数は84.5%。

・販売単価は、牛乳：224.6円、成分調整牛乳206.5円、加工乳：219.6円、乳飲料：173.8円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

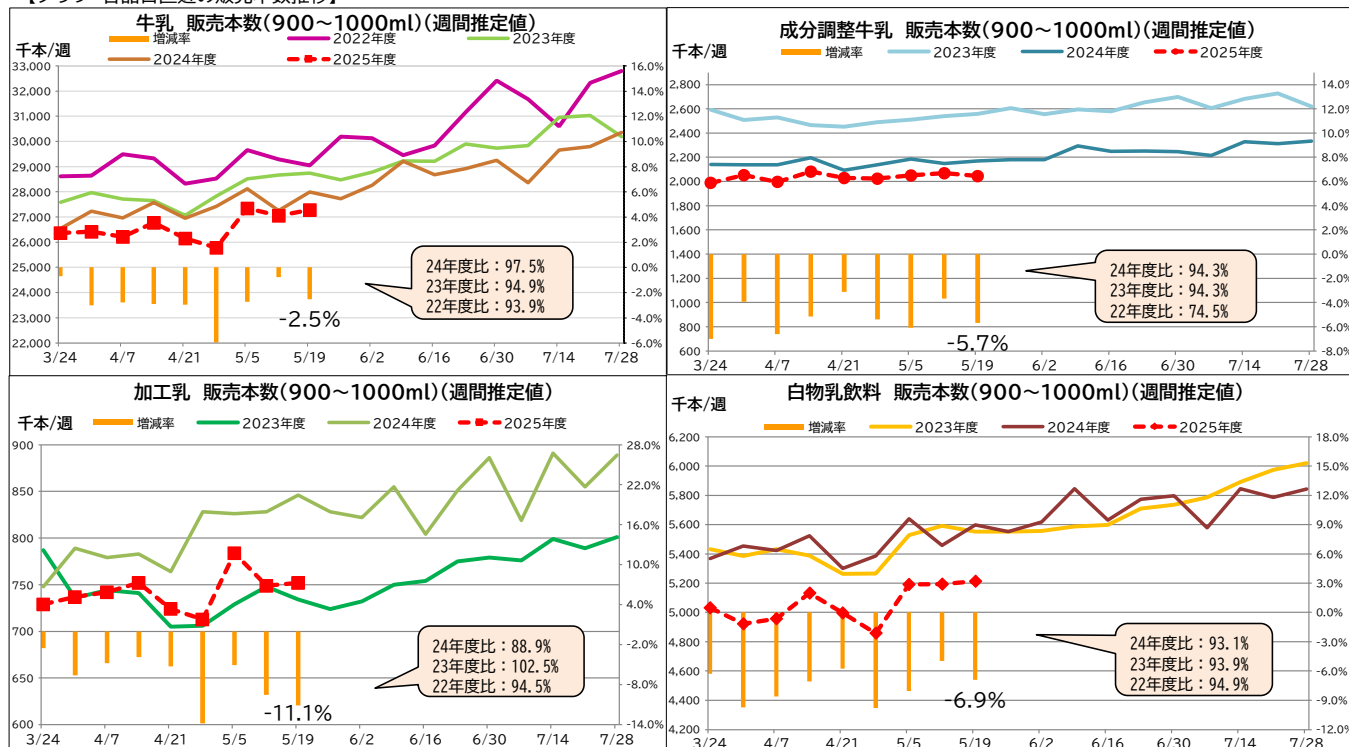
※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	3.31-	4.7-	4.14-	4.21-	4.28-	5.5-	5.12-	5.19-	25.5.19- 22.10.24 前週比	25.5.19- 23.3.20 前週比	25.5.19- 23.7.24 前週比
トータル	販売個数	34,131	33,910	34,736	33,898	33,378	35,370	35,059	35,297	32.8	17.9	15.5
	販売個数前年比	95.8	96.1	96.3	96.6	93.3	96.2	98.2	96.4			
牛乳	販売個数	215.8	216.0	215.7	216.0	216.7	215.6	215.9	216.0			
	販売個数前年比	26,418	26,214	26,769	26,149	25,783	27,344	27,046	27,286	34.3	18.0	16.8
成分調整牛乳	販売個数	97.0	97.2	97.1	97.0	94.0	97.3	99.2	97.5			
	販売個数前年比	224.4	224.7	224.6	224.9	225.6	224.3	224.8	224.6			
加工乳	販売個数	2,053	1,996	2,083	2,029	2,023	2,051	2,069	2,046	32.8	17.9	13.3
	販売個数前年比	96.1	93.4	94.9	96.9	94.6	93.9	96.3	94.3			
乳飲料	販売個数	205.4	206.8	205.3	206.2	204.7	206.0	205.3	206.5	28.7	18.4	7.8
	販売個数前年比	73.7	74.2	75.2	72.4	71.3	78.4	74.9	75.2			
牛乳	販売個数	93.4	95.3	96.1	94.8	86.2	94.9	90.5	88.9			
	販売個数前年比	218.5	218.2	218.5	219.9	218.8	217.0	218.9	219.6	24.1	14.3	9.6
成分調整牛乳	販売個数	4,923	4,957	5,132	4,997	4,858	5,191	5,194	5,213			
	販売個数前年比	90.3	91.4	92.9	94.2	90.2	92.0	95.2	93.1			
加工乳	販売個数	173.6	173.7	173.4	173.0	174.0	173.0	173.9	173.8			
	販売個数前年比											

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(5/19週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上)。

(2)前週(5/12)との比較では、個食タイプが増加した一方、ドリンクタイプと大容量タイプは減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(千個)

品目	3.31-	4.7-	4.14-	4.21-	4.28-	5.5-	5.12-	5.19-
ドリンクタイプ	👇	➡	👇	👇	👇	👇	👇	👇
個食タイプ	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇
大容量タイプ	➡	➡	👈	👈	➡	➡	👈	➡



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



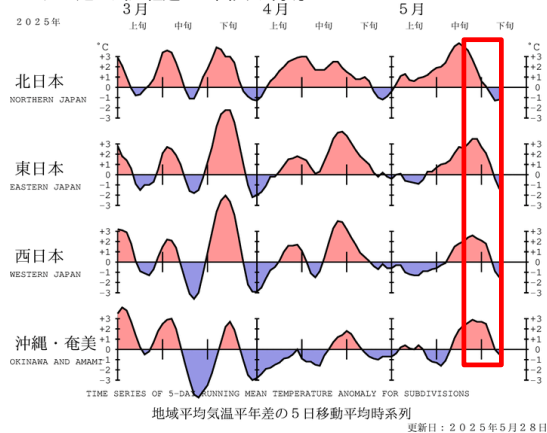
:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

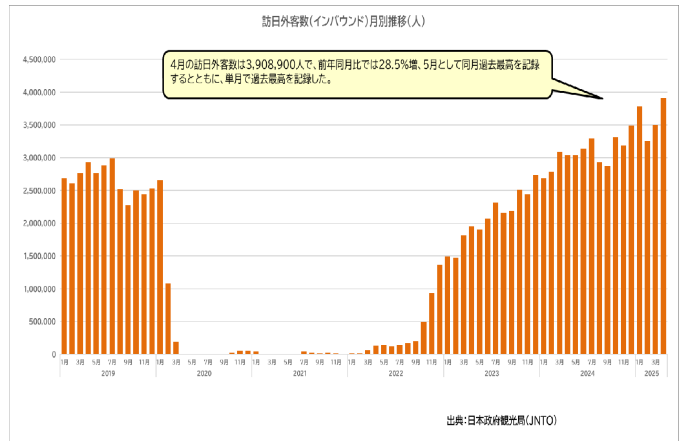
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※5/19週の気温経過 出典:気象庁



更新日: 2025年5月28日

訪日外客数(インバウンド)月別推移(人)



※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」